

2020年2月10日

Information News 第102号

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2020年2月3日～2020年2月7日の期間に発表された、食品に関連する話題を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

<厚生労働省>

- ・事務連絡「ロシアから輸入される食肉等の取扱いについて」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000592370.pdf>

<農林水産省>

- ・「2019年の農林水産物・食品の輸出実績」について

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kaigai/200207.html>

⇒2019年の農林水産物・食品の輸出額は9,121億円で、前年同期比0.6%の増加となりました。ただし、政府の目標額1兆円には届きませんでした。輸出先を見ると、1位が香港、2位が中国、3位が米国でした。

- ・新規試験研究課題の募集及び応募説明会の実施について（令和2年度安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/giijutu/200207.html>

- ・第16回食育推進全国大会の開催の決定について（令和3年6月開催@岩手県）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/200207.html>

<消費者庁>

- ・食品に関するリスクコミュニケーション「今、知ろう 食の安全の考え方」の開催及び参加者の募集について(2/28開催@滋賀県)

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/018676/>

<消費者庁HP掲載の回収情報>

アレルギー表示関連	7件
消費/賞味期限関連	2件
品質関連	2件（物性不良1，加熱不足1）
微生物関連	1件（カビ）
残留農薬/動物用医薬関連	1件
包材関連	1件
異物混入関連	1件（ネジ）
その他	1件（保存方法記載漏れ）
	計16件（前週比+8）

⇒ピザの外装袋に傷がつき、密封性が保たれていないことにより自主回収が発生しています。

⇒水切菜（きょうな）より基準値を超えた農薬ダイアジノンが検出されたことで、自主回収が発生しています。

★★分析テクノサービスからのお知らせ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

袋詰め製品の気密性不良（ピンホール、シール不良）は、内容物の突き刺し、他物質の摩擦、落下時の衝撃、原料噛みなどにより発生し、膨張やシール後退を引き起こすことがあります。弊社では、経験豊富な検査員による詳細観察により、気密性不良の原因を推定致します。また、レトルトパウチなどのアルミニウム層を有する包材で、シール不良箇所が判別しにくい場合は、当社独自の方法で可視化すること

も可能です。

お気軽にお問い合わせください。

★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に送信させていただいております。本メールがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配信を停止させていただきます。

※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。

株式会社ハウス食品分析テクノサービス
インフォメーションニュース係
Mail: info2@food-analab.co.jp

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台1丁目4番
[TEL:043-237-5676](tel:043-237-5676) FAX:043-237-2912
[URL:https://food-analab.jp/](https://food-analab.jp/)
